



慶應義塾  
Keio University

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

## 「未来のコモンセンスをつくる研究大学」へ向けた国際連携の紹介

2025年2月19日

### 第8回 研究大学コンソーシアムシンポジウム

パネルディスカッション「博士人材や若手研究者の国際的な頭脳循環の促進」

中妻 照雄

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート [KGRI] 所長  
(経済学部教授・経済学研究科委員長)

# Contents



慶應義塾  
Keio University

1. 概要と研究拠点
2. OISTとの連携による国際的な頭脳循環の促進
3. 国際共同研究や国際的研究の可視化

# Contents



慶應義塾  
Keio University

## 1. 概要と研究拠点

## 2. OISTとの連携による国際的な頭脳循環の促進

## 3. 国際共同研究や国際的研究の可視化

# 「未来のコモンセンスをつくる研究大学」に成長していくプロセス

交付決定額：約**55億円**  
(5年間)

学間によって社会を豊かにし、社会からの学問への信頼を高める「**学問の社会実装**」と、経済発展を促進する「**起業家・実業家の創生**」を実現し、これらの挑戦に連携大学OISTや参画機関と共に世界の舞台で取り組むことで、**実学の成果を未来のコモンセンスとして成就させる研究エコシステム**を確立する。

1. 先行するWPI、COI-NEXTを核にして、領域横断研究を創出し成長させるための土壌（System）を整備
2. 領域横断研究、課題解決、社会実装までを支援する体制を構築
3. 国際的展開、学際的发展のため、OISTと連携



# 領域横断研究、課題解決、社会実装までを支援する体制



# Contents



慶應義塾  
Keio University

1. 概要と研究拠点
2. OISTとの連携による国際的な頭脳循環の促進
3. 国際共同研究や国際的研究の可視化



## 学校法人慶應義塾と学校法人沖縄科学技術大学院大学学園との 科学・学術協力に関する基本協定の締結（2022.08.26）



- ① 教員、研究者および研究支援・事務に携わるスタッフの相互交流
- ② 大学院における合同プログラムの実施ならびに教育及び人材育成のための相互支援
- ③ 共同研究等の研究協力
- ④ 研究施設・設備の相互利用
- ⑤ 学術資料、学術出版物その他の情報の相互利用
- ⑥ 技術移転・起業家育成に関するベストプラクティスの共有
- ⑦ 上記①から⑥以外で本協定の目的を達成するために両当事者が必要と合意する分野

# 連携コーディネーターの配置とファシリティの相互利用



慶應義塾  
Keio University

OISTコーディネーター

- ・若手研究者や博士人材の交流アレンジや受入支援
- ・研究会やイベントの企画・運営
- ・共同研究の企画・支援

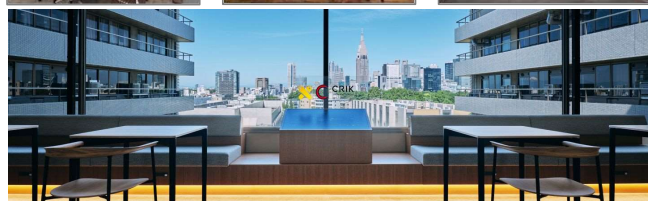


OIST

慶應コーディネーター

地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業：約20億円

CRIK信濃町



Yagami Innovation Laboratory (YIL)



相互利用

OIST-land-neXus



OIST-sea-neXus





## J-PEAKSにより、両校とも最先端のクライオ電子顕微鏡を設置・整備



### 研究連携促進から次世代育成までを展開

- 様々な研究施設との共同利用、技術セミナー開催等を介し共同研究のネットワーク構築と発展
- OISTとの共同研究、OIST主催の共同トレーニング・プログラムなどを介した博士人材や技術者の育成

# 研究者・URA・事務職員の交流

## OIST-Keio Showcase Talk Series (毎年度2回実施)



2021年度  
(第1回)



2021年度  
(第2回)



2022年度  
(第3回)



2022年度  
(第4回)



2023年度  
(第5回)



2024.9.25 @慶應 (第6回)



- ・教職員の相互訪問
- ・研究者のマッチング
- ・博士人材・若手研究者の交流
- ・領域横断型共同研究の創出

## OIST-Keio Showcase Talk Series 7 Science meets Society: Frontiers in Interdisciplinary Approaches to Life Sciences (2025.1.31@OIST)

**OIST** **Keio University**

OIST-Keio Showcase Talk Series 7

### Science Meets Society

Frontiers in Interdisciplinary Approaches to Life Sciences

**SPEAKERS:**

- Asst. Prof. Tomomi Kiyomitsu**  
Cell Division Dynamics Unit
- Dr. Midori Ohta**  
Principal Investigator, Centrosome Dynamics and Evolution Group
- Prof. Simone Pigolotti**  
Biological Complexity Unit
- Dr. Saacnicteh Toledo Patiño**  
Principal Investigator, Molecular Bioengineering Group
- Prof. Bernd Kuhn**  
Optical Neuroimaging Unit
- Dr. Kunimichi Suzuki**  
Junior Principal Investigator, WPI-Bio2Q
- Senior Asst. Prof. Mayumi Oda**  
School of Medicine
- Assoc. Prof. Yoshihiro Itaguchi**  
Faculty of Letters
- Assoc. Prof. Michiyuki Kawakami**  
School of Medicine
- Prof. Hiroshi Makino**  
School of Medicine

**Fri., Jan. 31, 2025 (9:30-17:00)**  
OIST Sydney Brenner Lecture Theater (B250)

Free Admission

Office of the Dean of Research: dean\_of\_res@oist.jp  
Office of Research Development and Sponsored Projects: chukaku-keio@adst.keio.ac.jp

NDA & Registration Required for Participation



- ・国際的な環境における若手研究者の研究発表
- ・国際連携や産学連携に係る職員同士の意見交換の実施

## 国際的な人材育成：OIST-Keio International Research Summer Campの実施（毎年度実施）

慶應学生サマーキャンプ（2024.7~8@OIST）

慶應職員研修（2024.7~8@OIST）

※ 次年度（2025.7~8@OIST）

学生：

- ・研究室での実習経験
- ・成果発表
- ・OISTの研究者と研究領域に触れる機会

職員：

- ・国際的な環境での実地研鑽（国際スキル向上）
- ・世界水準のアドミニストレーションに触れる機会



# Contents



慶應義塾  
Keio University

1. 概要と研究拠点
2. OISTとの連携による国際的な頭脳循環の促進
3. 国際共同研究や国際的研究の可視化



## Research Showcase (慶應義塾の全研究者の可視化)

3つの柱を同時並行で推進し、動画の制作と  
魅力あるコンテンツおよびプラットフォームの検討を行う

7  
イベント

### Hidden Jewels

サロンの雰囲気で開催。若手研究者の情報発信も実施。Zoom Live配信。

44  
ムービー

### 研究紹介動画制作

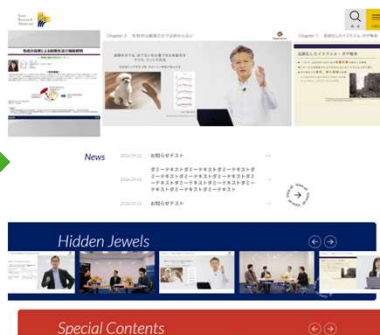
研究発表と交流により、情報交換、  
研究交流、連携を促進。

3  
コンテンツ

### 研究Showcase Special Contents

Showcase Websiteの誘引となる魅力的  
コンテンツの制作・発信

Showcase Portalに  
イベント動画を集約



## Research Development (国際共同研究の推進)

### 【研究補助制度】

#### ✓ KGRI Challenge Grant (独自予算)

- 対象となる研究カテゴリーは3領域

- ① OIST-慶應探索型
- ② 文理融合/学際/分野横断型
- ③ 新領域/国際連携開発型



#### ✓ Humanity and Social Science(HSS) Grant (独自予算)

- Challenge Grantへの応募の中から人文・社会科学分野の研究課題に特化した補助制度

### 【国際的研究センターの創出】

2024年度新設

- ✓ 新設センター：慶應AIセンター、X Dignity センター

## 新たな国際共同研究の事例 カーネギーメロン大学とのAI研究連携

慶應義塾大学は、AI・ロボティクス研究で  
世界トップの米カーネギーメロン大学とのパートナーシップを発表

「**慶應AIセンター**」(センター長：杉浦孔明 理工学部教授)は  
そのパートナーシップに基づき、大学間の学術的な連携に加え、  
**産業界のリーダー**を取り込むことで、科学研究向けの生成AI研究  
およびAI技術の進化の加速を目指す



(2024年4月9日)

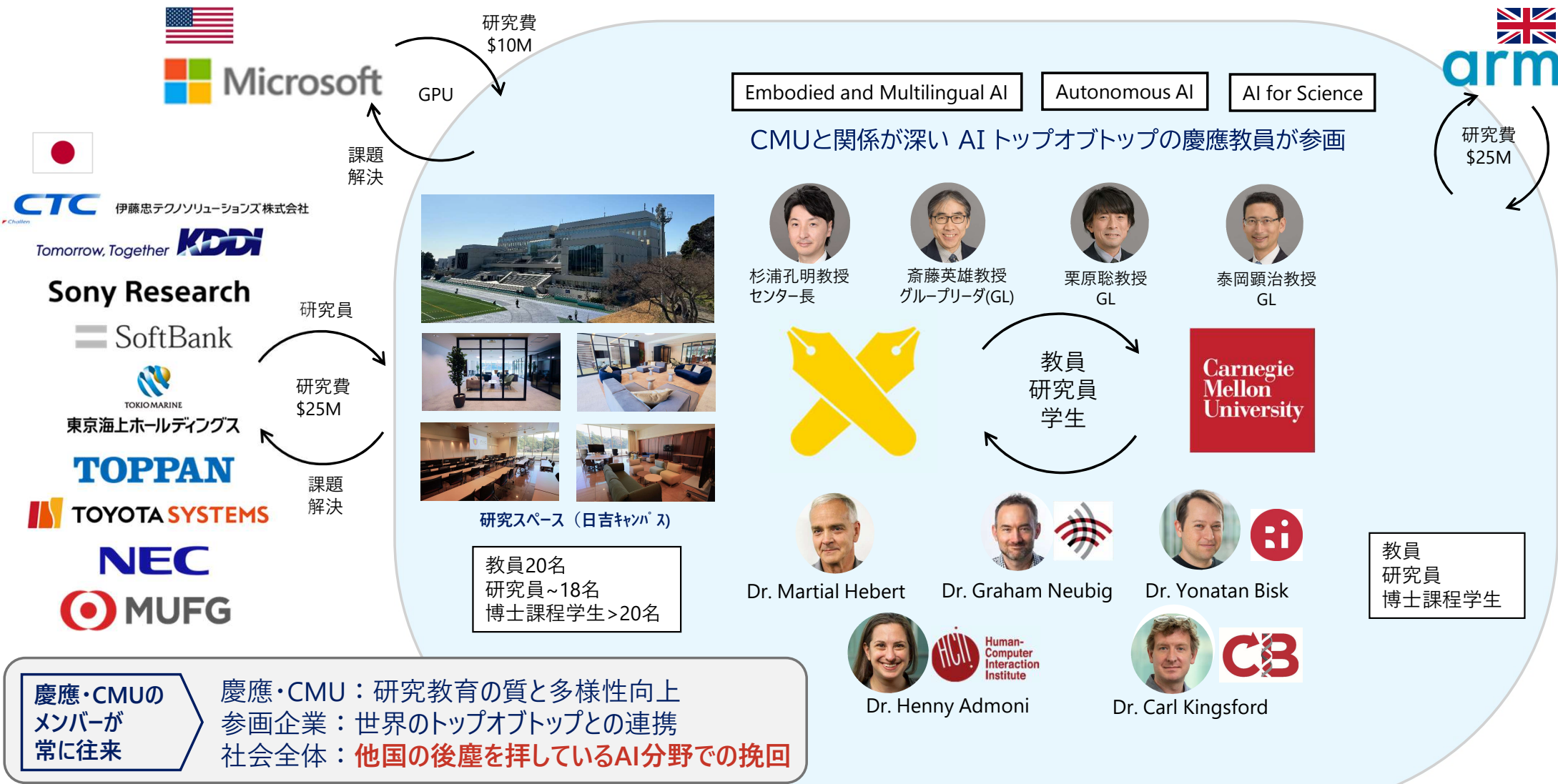
米国商務省主催 日米大学と企業間のAIに関するパートナーシップの署名式  
左から、レモンド商務長官、ジャハニアン カーネギーメロン大学長、ハースARM代表  
取締役CEO、天谷常任理事、沼本Microsoft CMO、盛山文部科学大臣

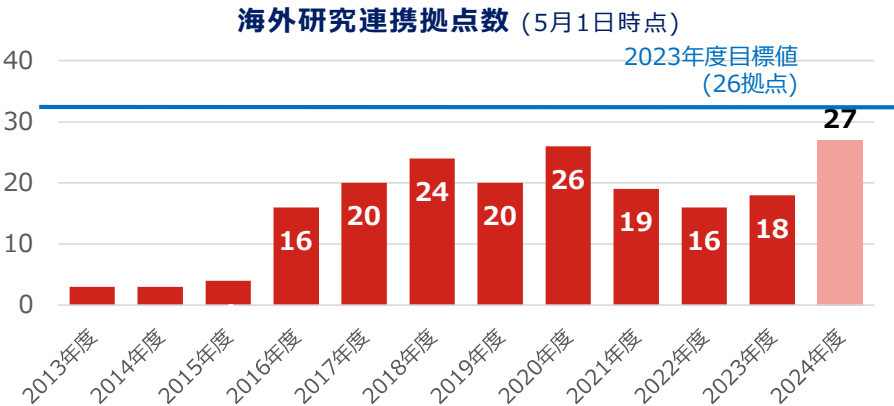


(2024年9月24日)

KGRI「慶應AIセンター」開所式

# 新たな国際共同研究の事例 AIに関する慶應-CMU連携





2023年5月以降、さらに海外研究連携拠点が発展

9大学+RENKEI

**J-PEAKS:** ノースウェスタン大学、ケルン大学、キングス・カレッジ・ロンドン、延世大学

**量子コンピューティング人材育成:** シカゴ大学、ソウル国立大学、延世大学

**AIセンター:** カーネギーメロン大学(CMU)

**デジタルヒューマニティーズ:** ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)

**Arabic Learning Center:** アラブ首長国連邦(UAE)大学

**RENKEI(日英大学間連携プログラム):** 英国6大学(ダラム大学、サウサンプトン大学等)

カーネギーメロン大学(CMU)

- 2024年4月にAI研究のパートナーシップを締結。
- 2024年9月、KGRIに「慶應AIセンター」を設置し、CMUを含む連携機関との共同研究プロジェクトに向けた体制整備を実施。
- 「AIに関する基礎的研究・工学的応用」、「科学的発見へのAI利活用推進」に向け、学際的な連携を行っていく予定。AI研究の最前線の立場から大学や産業界の研究者、学生を集め、次世代AI技術の創造に貢献。
- CMUとの連携によって本学にMicrosoft社(USA)から5年間で500万ドル(約7億5千万円)の研究援助が決定
- 国内企業からも年間4億円×10年の研究援助が決定

延世大学・国立台湾大学

- KGRI「量子コンピューティングセンター」を連携主体とし、IBM量子コンピュータネットワークのハブである3機関の連携のもと、東アジア地域の包括的な連携体制を構築し、人的交流、共同研究などを通じて世界をリードする強力な研究グループを創生することを目標に活動中。

カロリンスカ研究所 (Karolinska Institutet)

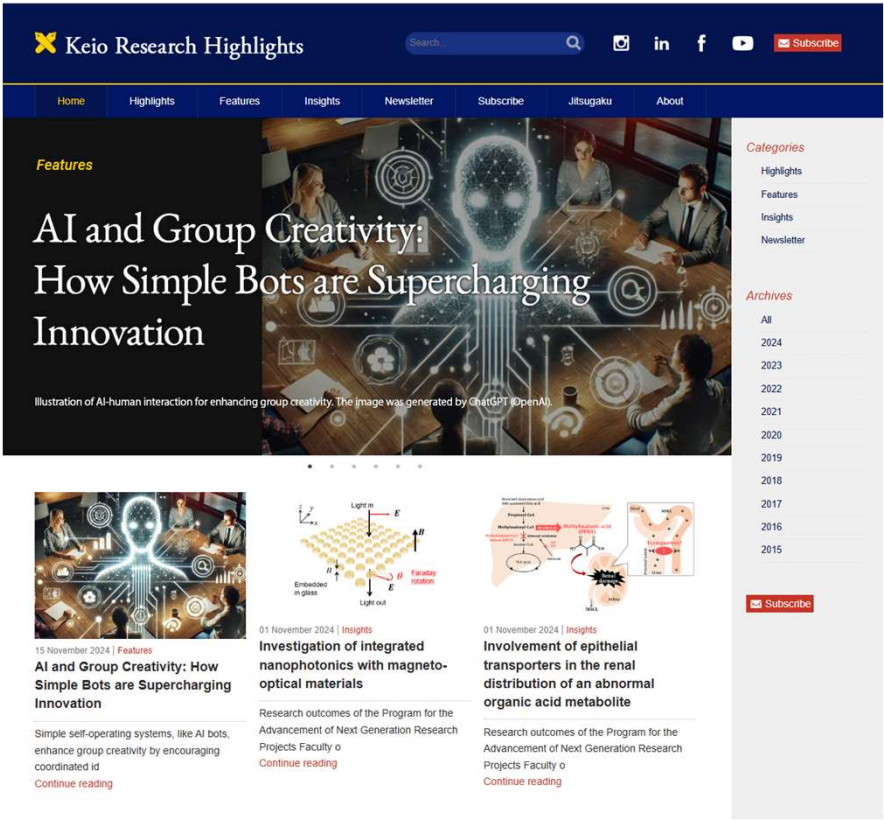
- カロリンスカ医科大学との間で2017年度に包括協定を締結、その後2018年度から研究者・学生交換協定を締結。博士課程合同サマースクールを実施するなど、大学院生に対して、共同研究や留学により研究を発展させる機会も提供している。カロリンスカ医科大学と本学との間で開始された博士合同サマースクールは、現在は北京大学とキングス・カレッジ・ロンドンも加わった4大学が合同で企画運営し、レクチャーコースとラボワークを主軸としたプログラムを開催している。

ブロード研究所 (Broad Institute)

- 2015年度に医学部と協定を締結。本学の百寿総合研究センターやWPI-Bio2Qと研究連携を行っている。

研究連携推進本部の下に国際協調も含む研究促進を担う**KGRIとイノベーション推進本部**を設置し、国際対応を組織化

# Keio Research Highlights (年8回配信)



<https://research-highlights.keio.ac.jp/>

**Keio Research Highlights** offers a taste of the important research and scientific developments from Keio University.



慶應義塾  
Keio University

慶應義塾大学は、J-PEAKSのサポートのもと、  
さらなる国際連携・国際共同研究を促進していきます。

Thank you for your attention.